



日本共産党粕江市議員  
**岡村しん**

台風19号を教訓に、国や都と連携を強め  
災害に強いまちづくりを

**問** ①避難勧告が出た地域の人口と避難者数と避難率は②総合防災訓練で防災ガイドやマイタイムラインの普及を③車での避難はどうしていくか④避難所受付でアレギー情報記入欄がなかった。今後の対応は⑤避難所運営協議会や学校との連携と課題は⑥避難所へテレビ設置を⑦スフィア基準を満たすための課題は⑧ペット災害対策ガイドの改定を⑨水害想定避難訓練を来年度に行うべき⑩安心安全情報メールで事前の注意喚起を⑪コマラジの電波改善を⑫雨水管理総合計画作成メリットは⑬雨水管理総合計画を策定すべき⑭学校施設や公共施設に雨水浸透施設や貯留施設を作るべき⑮逆流防止のため、猪方排水樋管のフラップゲートへの改修検討を⑯野川掘削工事の着実な実施を都に要望を⑰小河内ダムの水は、何時間で粕江に到達するか⑱多摩川の水位を下げるため、小河内ダムの運用変更を、流域自治体と連携し要望すべき。

**答** ①対象1万8900人。避難者3966人、約21%②検討する③市民の生命を優先する観点から柔軟に判断④アルファ化米の成分表示、アレギーシールを活用⑤校舎の開場等が課題。校長等の待機を要請し、運営協議会と協議する⑥配置を検討⑦スペースなど様々な制限⑧整理する⑨検討している⑩取り組む⑪放送局側も認識⑫浸水対策を計画的に進めることができる⑬一般的なメリット⑭原因究明の成果を取りまとめた上で有用性を研究する⑮原因究明委託の中で、実現可能な対策を検討⑯原因究明委託の中で、対策の1つとして検討したい⑰機会があるたびに要望している⑱算出は困難⑲流域自治体、国と連携し減災に取り組む。



日本共産党粕江市議員  
**宮坂良子**

台風19号から被災者支援、情報伝達の工夫、要配慮者への支援対策を

**問** ①高齢の方が情報届かず困ったとの声、具体的対策は②福祉避難スペースの位置づけは③避難所の体育館では車いすや子どもたちが大変な状況だった。福祉避難スペースを教室や和室に設置を④福祉避難所の位置づけ箇所数、収容人数⑤福祉避難所に行く手順は⑥豪雨の中指定避難所から福祉避難所へ移動するのは危険、重度の方は事前に聞き取りを行い直接福祉避難所へ行く仕組みを要望する。

**答** ①まずコマラジ85.7ヘクタールの周知に努めた②指定避難所に設置する要配慮者に配慮したスペース③校舎の構造上の特性等踏まえ学校と調整中④介護が必要な高齢者等にケアが行われるバリアフリー化した避難所。14カ所2789人⑤避難所で要配慮者の健康状態等を考慮、緊急性の高い方から移送⑥避難行動要支援者支援及び福祉避難所設置・運営に関するプランの見直しに併せ総合的に検討。

**問** 教員の変形労働時間制はのちと健康を壊すもの増員でゆきとどいた教育を

**答** ①教員の勤務時間と実際の時間は②土日も勤務し長時間が明らか、市の見解は③働き方改革目標「週当たり60時間を超える教員をゼロに」を掲げている実態は④授業・教材の準備、ノート確認、テスト採点、保護者ニーズに応えるなどは残業代がつかない自主活動か⑤変形労働制は学期中10時間を限度にその分を夏季休暇にまわすようにと、長時間労働、過労死の危険になる。反対を。

**問** ①休憩時間を除き1日7時間45分、30年10月調査では全校平均10時間30分②授業準備や校務だけでなく、保護者や地域のニーズにも応える必要があり、やむを得ない状況③自己申告による管理、正確には答えられない④超勤4項目には当たらない⑤報道で把握しているが、2年前に働き方改革をスタートして、閉庁日も含め適正な教員の勤務体制をつくっていくことには変わりはない。

**用語解説**

- ※1 キッズゾーン…保育施設を中心に原則半径500メートル以内を対象範囲とし、園児の散歩コース等を踏まえ、自治体が保育施設・道路管理者・警察等と協議して設定するもの。
- ※2 シェアリングエコノミー…ヒト・物・サービス・乗り物・場所などを、多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。
- ※3 ACP…Advance Care Planningの略称。患者・家族・医療従事者の話し合いを通じて、患者の価値観を明らかにし、今後の治療・ケアの目標等を明確にするプロセスのこと。
- ※4 ICT…Information and Communication Technologyの略称。情報・通信に関する技術の総称。
- ※5 マイクロプラスチック…ポイ捨てやゴミ処理施設へ輸送される過程で環境中に出てしまい、雨等で流され最終的に海に流れ着き、紫外線や波の影響で劣化していったもののうち、5mm以下のサイズになったプラスチックのこと。
- ※6 トリアージ…患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと。
- ※7 TSマーク…TRAFFIC SAFETY(交通安全)の略称。自転車安全整備士が点検確認した普通自転車に貼付されるもので、このマークには傷害保険、賠償責任保険等が付いている。
- ※8 スフィア基準…災害や紛争などの被災者すべてに対する人道支援活動を行う各種機関や個人が、被災当事者であるという意識をもって現場で守るべき最低基準の通称。
- ※9 フラップゲート…河口部の防潮、河川の逆流防止のため設けられるゲート。

**総務文教常任委員会 所管事務調査**

総務文教常任委員会では所管事務調査として「豪雨対策」についてを調査しています。「水門」について、1月14日に京浜河川事務所へ視察、29日に六郷排水樋管及び猪方排水樋管へ現地調査に行きました。



(国土交通省京浜河川事務所)

**社会常任委員会 所管事務調査**

社会常任委員会では所管事務調査として「産業振興」についてを調査しています。10月18日及び11月25日に「各商店会の現状と課題」についてを調査するため現地調査へ、1月21日に国立市へ行政視察に行きました。



(国立市議会議場)

**建設環境常任委員会 所管事務調査**

建設環境常任委員会では所管事務調査として「公園の現状確認と今後のあり方」についてを調査しています。「公園の役割やあり方」について12月2日に東京農業大学へ視察、1月14日に羽根木公園・石仏公園・烏山川緑道(世田谷区)へ現地調査に行きました。



(世田谷区立羽根木公園)

**議員研修会を開催しました**

現在、議会運営委員会では議会運営の課題について協議しています。11月12日に22人の市議会議員全員で、多摩市議会へ「ペーパーレス議会システムの導入」について研修に行きました。多摩市議会議員の方々より、タブレットの使い方について熱意ある説明を聞くことができました。



(多摩市議会議場)

**全国都市問題会議に参加**

11月7日・8日に鹿児島県霧島市で開催された第81回全国都市問題会議に6人の議員が参加しました。今回のテーマは「防災とコミュニティ」で、大学教授による講演や、パネルディスカッションが行われました。

◎基調講演「鹿児島島の歴史から学ぶ防災の知恵」



(霧島市国分体育館)